



鳩中だより

川口市立鳩ヶ谷中学校
〒334-0002 川口市鳩ヶ谷本町4-8-5
TEL:048-281-1010
FAX:048-282-6631
H. P. <https://hatogaya-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp>

学校教育目標：志高く！主体的に学ぶ生徒の育成(知)心豊かな生徒の育成(徳)心身が健康な生徒の育成(体)
生徒数 1年生143名 2年生199名 3年生158名 合計500名 令和5年12月日発行：12月号

「節目で振り返り、新たな策をもって再び前へ」

校長 佐久間 章匡

早いもので今年も最後のひと月、師走を迎えます。私自身、4月に本校へ着任してから8か月が経過し、時の流れの速さを感じます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては今年一年の厄落としてもある大掃除、また新年の準備等で気忙しくなる時期ですので、どうぞご自愛ください。

さて、学校では三月が年度末の区切りとなりますが、暦の上では十二月が年末という区切り。この節目を迎えるにあたり、本校の今年(4月～12月)を振り返りたいと思います。【4月・入学式】77期生を鳩中の新たな仲間として迎える入学式にあたり、保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会委員、自治会長の皆様にご臨席賜り、盛大に入学式を執り行うことができました。【6月・修学旅行】二泊三日の奈良・京都の旅。大きなトラブルなく、すべて予定通りに行うことができました。線状降水帯の真下に入り、大雨に見舞われながらも仲間との泊を伴うこの行事が一番の思い出と言っている3年生が大変多かったです。【7月・水上自然教室】一泊二日の水上町での生活。生徒の自主性や協調性が育まれました。二日目のハイキングでは昼食途中で雨に降られ、合羽を着ての下山を余儀なくされましたが、これも良い思い出ですと生徒の一言に救われました。【8月・サマースクール】1年生が防災リーダー講習を受けました。これは防災教育の一環であり、有事の際に中学生がマンパワーとなるために毎年1年生が受講し、今後も継続していく取り組みです。【9月・市民体育祭】新チームとなって初めての公式戦。感染症の影響を受けることなく全競技が実施できました。鳩中としての誇りをもって競う姿に感動をもらいました。【10月・体育祭】これまで「運動会」という名称で実施してきたものを「体育祭」に改め、学年縦割りの団対抗戦。来年は3年生のような団長になりたいと抱負を語った生徒に学年縦割りの活動の良さを感じました。【10月・川口市総合防災訓練】本校を会場とする川口市総合防災訓練に全校生徒が参加。その日を登校日として避難所開設時に中学生ができることを学び、体験活動では自治会の方々の顔を知ることを一つのテーマとして掲げ、自治会の方々と生徒が協働する場面を設けることができました。【11月・学習発表会】保護者の参観に人数制限を設けず、事前申し込みのチケット制としました。多くの保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様にご参観いただき、合唱コンクールと文化部発表会を開催することができました。各クラスにしかつぐれない合唱、文化部のオリジナルの作品など、唯一無二の素晴らしい発表を行うことができました。【12月・夢ワーク体験事業】4年ぶりに夢ワークが復活し、1年生が職場体験学習を行います。キャリア教育の一環として大変有意義な学習です。地域の様々な職種の方々にたくさんのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

今年を振り返ると、新たな取り組みや挑戦をしてきたのだと感じます。しかし、その取り組みはまだ道半ばのものもあります。節目、節目で振り返り、目標に対して何処まで到達しているかを確認し、目標までの道のりを軌道修正しながら再び前へ進む。PDCA検証サイクルは目標達成に欠かせない考え方だとあらためて思います。また、何かを始める時には、やはり想いを共にできる仲間が必要だと感じます。鳩中は教職員、PTAの皆様、地域の皆様がその想いを共にできる学校です。今後も、このことを当たり前と思わず感謝し、幸せを感じながら「見逃しの三振よりも空振りの三振」の意気で学校経営を行ってまいります。

終わりに、本校の二学期中の教育活動に対するご理解、ご協力と共に、温かいご支援を賜り深く感謝申し上げます。前年踏襲という言葉を手放し、新たな挑戦を模索しながら「志高く！」の教育目標のもと鳩中独自の教育活動を展開してまいりました。学校行事をはじめとする様々な新たな取組の実現と成功は、すべてご家庭、地域の皆様のお力添えがあったからこそだと考えております。ありがとうございました。令和5年の終わりを迎え、保護者、地域の皆様が良いお年を迎えられますように心からお祈りいたします。来年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

12月の予定					
12/1	金	ふれあい体験(3-4)12限	21	木	大掃除・学年集会40分×4時間
2	土	地域合同防災訓練※授業参観・学校公開	22	金	終業式【あいさつ運動】ふれあいデー
3	日		23	土	
4	月	振替休業日	24	日	
5	火	月曜日課	25	月	
6	水	【スクール・ン立哨指導】夢わーく 合同作品展6組(～12/10)	26	火	
7	木	夢わーく 校外学習6組 校外学習2年 実力テスト3年	27	水	
8	金	夢わーく	28	木	閉庁日
9	土	PTA制服リサイクル販売AM	29	金	閉庁日
10	日		30	土	閉庁日
11	月		31	日	閉庁日
12	火	中央委員会 期末短縮 火6カット	1/1	月	閉庁日
13	水	専門委員会 期末短縮 水4カット 【スクール・ン立哨指導】	2	火	閉庁日
14	木	期末短縮 木5カット	3	水	閉庁日
15	金	生徒集会 ALT最終 薬物乱用防止教室56限	4	木	閉庁日
16	土		5	金	
17	日		6	土	
18	月		7	日	
19	火		8	月	成人の日
20	水	給食最終日 はーとふるネットワーク会	9	火	始業式【あいさつ運動】
1/10(水) 校長会テスト3年、実力テスト1・2年、給食開始			1/11(木) 発育測定		
1/23(火) 新入生保護者説明会					

鳩ヶ谷中生の活躍 今後の更なる活躍に期待しています！

水泳 杉本璃子

令和5年度埼玉県新人体育大会兼県民総合スポーツ大会 50mバタフライ 29秒70 第3位

令和5年度川口市市民体育祭200m個人メドレー 2分28秒58 第1位



学習発表会(合唱コンクール、文化部発表会) 11/2(木)

今年度は3年ぶりに、保護者の皆様と学校運営協議会の皆様の参観ありで、開催されました。午前中は合唱コンクール、午後は文化部(演劇部、華道部、吹奏楽部、美術部)の発表が行われました。10月に実施された体育祭に続き、子供たちの活躍と成長が実感できる行事となりました。



桜町小学校児童 中学校体験実施 11/24(金)

令和6年度の新入生が中学校入学時に感じる不安感の軽減と、目標を持って中学校に入学できるようにするために桜町小学校児童を対象として、中学校体験を実施しました。授業では、意欲的に学習に取り組む姿が見られました。2月には鳩ヶ谷小学校の児童を対象とした中学校体験を実施する予定をしております。



<保護者の皆様への連絡>

地域合同防災訓練 12/2(土)

今年度も、「地域合同防災訓練」を鳩ヶ谷地区の7自治会、川口市危機管理課、大塚防災、川口市東消防署、川口市上下水道局と協力し、実施いたします。「自助・共助・公助」の理念のもと、開催されます。これを機会に地域の方と関係各所の連携を深めると共に、子供達の「自助・共助」の力も高めていきたいと考えています。今年度は、当日を「授業参観日」としております。当日は2年生が「簡易トイレ設営訓練」「炊出し訓練」「地震体験訓練・消火器訓練」などの訓練を実施していますので、ご参観ください。また、1・3年、6組では、「防災に関する授業」を行います。合わせてご参観ください。

自助・共助の力を身に付けよう



鳩中マスコット「チアコバト」
令和5年度公募により決定

学割申請の連絡

冬季休業中に帰省等の旅行を計画されているご家庭もあるかと思います。そこで、冬季休業中の学割申請についてご連絡いたします。申請は12/20(水)締切です。学割は、保護者様に「学割証交付願」をご記入いただいた上で、申請を受け付けております。必要な場合はお子様を通じて、早めの「学割証交付願」の受け取り・提出にご協力をお願いします。

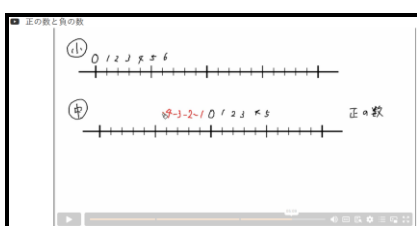
ICT教材「e-board」の紹介

「いつでも、どこでも、だれでも、無料で。学びを支えるICT教材」のコンセプトに提供されているものです。ご家庭や学校でも、無料で利用することができる教材で、授業の予復習に使用することができるだけでなく、お休み中の自学習等でも使用できます。例えば、「3年生のお子様が、1年生の学習内容を学び直したい」などの場面でも有効活用でき、本校でもその使用を推奨しているものです。是非、ご活用ください。



eboard サイト

<https://info.eboard.jp/>



板書のような動画構成



振り返りができる問題



答えは選択式で答えやすい

ゲームの課金トラブルに要注意！

埼玉県教育委員会

スマートフォンの普及により、インターネットを経由してプレイするゲームの利用が拡大しました。それにとともに、ゲームの利用をめぐるトラブルも増えており、中でもゲーム上での課金トラブルが大きな問題となっています。

課金トラブルとは？

無料で楽しんでいたゲームで、他の利用者に勝つためにもっと強いアイテムが欲しい、もっと長くゲームを続けたい、といった思いから、課金をしたことがある人もいないのでしょうか。

ゲーム内の課金はその場で現金を支払う必要がなく、お金を使っているという実感があまりありません。そのため、ついつい課金を重ねてしまい、後日多額の請求がきたという課金トラブルが発生しやすいのです。



基本プレイ無料のゲームにも、課金したくなる仕組みが

スマートフォンのアプリゲームなどは「基本プレイ無料」というシステムが主流です。その言葉通り、ふつうにゲームをしているだけならお金はかかりませんが、しかしそれだと、ゲーム会社はお金を稼ぐことができません。

そこで、「ガチャ」と呼ばれる、1度まわすごとに料金が発生し、ランダムにアイテムが出てくる（レアなアイテムはなかなか出てこない）システムを導入したり、課金をすれば、「無料のプレイ制限回数を超えて遊ぶことができる」などのメリットを設けたりして、利用者が課金したくなるような仕組みを作っています。

基本無料



もし課金するのなら……

保護者から課金を認められたからといって、無計画に課金をしてはいけません。家族で話し合い、以下のような課金するうえでのルールを決めて、必ず守るようにしましょう。

<課金するうえでのルールの例>

- ◆1ヶ月に〇〇円までと、課金の上限金額を決める。また、ゲームをする端末で課金の上限金額を設定し、そのパスワードを保護者に管理してもらう。
- ◆支払方法を、利用残高がわかるプリペイドカードにする。
- ◆課金ノートを作って、いつどのくらい課金したかを記録する。



課金しなくても楽しめるゲームはたくさんあります。友だちと無料で楽しく遊ぶ方法を考えてみてください。どうしても課金をしたいときは、必ず保護者に相談して、課金ルールを決めてからにしましょう。

※本資料は、埼玉県教育委員会の委託により、ポルトゥウィン株式会社が作成したものです。

